



令和3年2月1日発行 第11号

つばき

所沢市立椿峰小学校
〒359-1146
所沢市小手指南5-20-1
TEL:04-2948-6601
FAX:04-2948-6602
文責：校長 丸山 譲

「休眠打破」 —桜のように寒さに耐えながら準備を—

今日からいよいよ2月です。

2月の風物詩と言えば、節分です。その節分の翌日は「立春」です。寒い日が続いていますが、日も長くなり、木の芽が膨らんで、少しずつ春が感じられるようになっていきます。

春と言えば桜です。椿峰小学校にも校庭のフェンス沿いに桜の木があります。毎年、3月の下旬ごろには色鮮やかな桜の花が満開になります。

桜は、花が散って少し経つと次の年に花を咲かせる準備を始めます。夏には「花芽」ができます。しかしその花芽は、形成されてもすぐには生長しません。秋に葉を落とし、寒い冬に花が咲かないように休眠に入ります。そして、秋から冬の一定期間、低温（約5℃）にさらされることにより眠りから覚め、開花の準備を始めます。これを「休眠打破」といいます。

そして春を迎え、気温の上昇に伴い、花芽は生長し「生成」します。気温が高くなるスピードに合わせて、花芽の生成も加速します。生成のピークを迎えると開花します。真冬の寒さを乗り越えたからこそ、見事な花を咲かせることができるのです。桜だけではなく、同じように冬の寒さに耐えながら春を待ちわびている草花もあります。冬の間、地上の部分は枯れていますが、土の中では根をはりかえ、春の開花に備えています。生長が止まっているようでも、見えないところで必要な準備を進めており、そのおかげで春になると美しい花々を咲かせ、私たちの心に潤いを与えてくれます。

桜にとってこの寒い2月は、長い眠りから覚めて花を咲かせる準備を始める大切な時期です。そして、子どもたちにとってもこの2月は、4月から始まる新しい学年に向けての準備の月です。準備の期間をどのように過ごせばいいのか、自覚を促していくのが、重要になってきます。ご家庭におかれましては、お子さまが「どのような思いで新しい学年を迎えたいか。」を考えさせ、それをかなえるためにはどのような準備が必要なのかを話題にしていいただければ幸いです。学校では、子どもたち一人一人が、桜のようにしっかりと美しい花を咲かせることができるよう温かく見守っていきたいと思います。

